

国際インストラクター支援 ワークショップ開催のご案内

新生児蘇生法委員会

NCPR EITワーキンググループ委員長・産学協同ワーキンググループ委員

嶋岡 鋼

近年、途上国において母子保健の改善が喫緊の課題となっています。国連のSDGs目標（持続可能な開発目標）3.2では2030年までに世界の新生児死亡率（NMR）を出生1000あたり12以下にする、という目標を掲げていますが、現在の進捗から、その達成は難しいと考えられています。途上国における保健指標、特にNMRの改善については費用対効果の高い新生児蘇生法の導入が効果的と考えられていて、全世界、特に途上国で新生児蘇生法講習のニーズが高まっている状況です。

2018年にNCPRの英語版のHPが公開されて以降、日本発の新生児蘇生法である「NCPR」への注目が集まっています。英語のNCPR学習教材が無料でダウンロードできることも相まって、途上国、特にアジアの途上国からの問い合わせが寄せられるようになりました。また、新型コロナウイルスのパンデミックも収束に向かい、国際支

援の枠組みの中で、日本の医療者が海外でNCPRの講習会を開催する事例も増えてきました。そのような状況下、講習の実施責任者は、それぞれの国の文化や日本とは異なる背景の中で「NCPRをそのまま海外で実施すること」のリスクを認識し、有効な新生児蘇生法を現場に定着させるために、様々な要素に配慮し、丁寧に講習を組み立ていく必要があります。

この度、NCPRの教材を用いて海外で新生児蘇生法講習を行う意思のあるインストラクターを対象に「NCPR国際インストラクター支援ワークショップ」を開催する運びとなりました。概要は以下のとおりです。

NCPRが「**日本だけでなく世界の赤ちゃんを救うことができる**」というビジョンを皆さんと共有したいと考えています。是非ご参加ください。

〈開催日〉
2026年2月28日(土)
9:00～17:00

〈会場〉
東京都JR御茶ノ水駅近くの会議室
(参加者へ別途ご案内いたします)

〈参加費〉
医師／20,000円
その他の職種／10,000円

〈事前申込制〉
申込方法はHPをご参照ください
(定員を超えた場合は選考になります)



概要 講義とワークショップ

- NCPRを国際的に正しく展開するために
- NCPRの国際展開についてのケース検討ワークショップ
- 国際支援の中でのNCPRのお作法
- 現地医療者とのコミュニケーションについて

参加資格 以下が申込条件となります

- NCPRのI認定インストラクターであり、インストラクター歴が3年以上あること
- 英語のスライドを理解できること（講義の一部は英語で行われる可能性があります）
- 受講前の事前課題（志望動機のエッセイ提出）および、受講後のレポート提出ができること